

しちがはま

議会だより

No. 130

平成29年1月13日
宮城県七ヶ浜町議会



海の恵みに感謝
(海苔の収穫)

特集	小学校トイレ和式から洋式へ	2	
	子ども医療費助成対象年齢拡大の条例改正	4	
	町全体でグローバル人材育成を	6人が一般質問	9
	クイズに寄せられたコメント	19	

町内3小学校 和式から洋式トイレ改修へ

1億6千万円補正

12月定例会を12月7日から8日までの会期で開催しました。情報公開条例・個人情報保護条例等の制定および職員の給与等改正条例や、菖蒲田海水浴場・パトロールセンター建築工事変更契約、平成28年度各種会計補正予算など21件と議員提出議案6件を審議しました。
また、一般質問は6人が町の考えをいただきました。

平成27年度の総務・教育常任委員会において、町内小中学校を調査した結果、和式トイレから洋式トイレへの改修が最優先課題になっており、今定例会で、トイレ改修に向けた補正予算が確定したので特集をします。



- 改修工事の内容(案)
- ・ 工事の進め方 3月議会で契約し、4月に改修工事を開始し完了は来年3月予定。
 - ・ 洋式トイレはすべて暖房便座とする。
 - ・ 松ヶ浜小学校 : アンケート調査の結果、和式トイレを1カ所(3階)残す。
 - ・ 亦楽小学校 : アンケート調査の結果、和式トイレを1カ所(3階)残す。
 - ・ 汐見小学校 : 南校舎のトイレはすべて改修。北校舎(増築校舎)は、構造物の関係で今回は改修しない。

松ヶ浜小学校

先生から、和式トイレから洋式トイレになると聞いて、おどろきとうれしい気持ちでいっぱいになりました。
和式にも和式の良さがありました。洋式の方は低学年にとって使用しやすいと思いました。



松ヶ浜小学校6年
岩本美月さん

亦楽小学校

和式トイレと洋式トイレは、それぞれの良さがあると思います。
でも、洋式トイレを増やせばいろいろな人が使いやすいくなりますので、みんなのために改修する案をだしていただきました。ありがとうございます。



亦楽小学校6年
渡邊和花さん

汐見小学校

子どもたちに話したら、「やったあ」「いつ、いつ」と歓声が上がリ、堰を切ったように話し始めました。
和式トイレが苦手な帰宅するまで我慢していると聞いております。また、子どもたちのアンケートの中に、和式トイレの声もあり1カ所残していた。七ヶ浜の優しさに感謝いたします。子どもたちと一緒に、完成する日を心待ちにしております。



汐見小学校6年
大坂春奈さん



汐見小学校PTA
富田麗光会長

和式から洋式トイレへ全面改修する予算が通ったと聞きました。町の厳しい財政状況の中で、未来を担う子どもたちのために「尽力いただき誠にありがとうございます。今まで不安で過ごしてきた子どもたちですが、これからは充実した学校生活を送れると思います。一日でも早い改修工事を望みますと共に、改修

が終わった際には子どもたちの笑顔を見に来てください。



松ヶ浜小学校PTA
菊田太一会長



いつも清掃しています

議案審議

子ども医療費助成拡大 15歳から18歳に!

条例改正

●子ども医療費助成の改正

内容

適正な医療機会の確保および子育て家庭における経済負担の軽減をはかるためです。県内市町村での助成対象年齢15歳から18歳へ拡大傾向に伴う格差を是正すべく条例の一部を改正するものです。

●職員、特別職、議会議員などの給与等の改正(3件)

内容

人事院勧告および国における法改正により、条例の一部を改正するものです。

●人事行政の運営などの改正

内容

地方公務員法の一部改正に伴い所要の改正を行うものです。

●町税・国民健康保険税条例の改正

内容

所得税法等の一部改正に伴い町税や国民健康保険税条例を改正するものです。

●職員の勤務時間、休暇等の改正(2件)

内容

人事院勧告および国における法改正により、条例の一部を改正するものです。



診察を終えた中学生

●後期高齢者医療制度の保険料軽減特例措置の継続等を求める意見書

内容

社会保障・税の一体改革による社会保障充実施策が、低所得者への負担に配慮すべく、後期高齢者医療制度の保険料軽減特例措置の継続を含めた見直しとなるよう国に求めるものです。

●東日本大震災被災者の医療費一部負担金免除及び介護保険利用者負担の減免を被災市町村の負担によらず平成29年度継続するための財政措置を求める意見書

内容

東日本大震災から5年8ヶ月が経過したが、未だ被災地では、雇用確保、生活再建が充分でない中、災害公営住宅家賃等、経済的負担も増え、受診抑制による体調不良や持病悪化が慢性化している。被災者は、医療費等一部負担金及び介護保険利用者負担の減免継続を望

●子ども医療費への国庫負担額調整措置を廃止して、国の制度化を求める意見書

内容

子どもの医療受診時自己負担は、3割(就学前2割)であるが、アトピーやぜんそく等、慢性疾患で継続的治療が必要な子どもの家庭では、大きな負担となっている。子育て支援で、医療費助成は必要不可欠であることから、市町村の国民健康保険国庫負担金の削減(波及増カッパ)の廃止と、18歳までの医療費助成を早期に創設するよう国に求めるものです。

●安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交代制労働の改善を求める意見書

内容

国民の生命、暮らしを守る医療・介護現場は深刻な人手不足で厳しい状

条例制定

●情報公開条例
●個人情報保護条例
●情報公開・個人情報保護審査会条例

内容

マイナンバー制度導入に伴い、関係法令などの更なる複雑化に対応するため、現行条例を廃止し、改めて3分割として制定するものです。

議員提出議案

●宮城県が行おうとしているセシウム8000ベクレル以下の放射能汚染廃棄物を一般廃棄物との混焼による一斉焼却処理の撤回を求める意見書

内容

一斉焼却処理による風評被害、体内被ばくは重大で、また、後年がん化の指摘もあり、混焼処理の撤回を県に求めるものです。

討論

反対 歌川 渡
制度導入に反対であり、情報流出などの心配があり反対とする。

賛成 岡崎 正憲
制度そのものの改正ではなく運用性のもので賛成とする。

反対 渡邊 淳
トライしないと未来はない。混焼の実施を止めるべきではない。

賛成 歌川 渡
8000ベクレル以下が大丈夫とは理解ができない。廃棄物処理法では100ベクレル以上の放射性物質は管理することになっている。

採決結果
賛成 11
反対 2
賛成多数で可決

採決結果
賛成 2
反対 11
反対多数で否決

工事変更契約



工事名：菖蒲田海水浴場パトロールセンター建築工事
契約先：浜田工業(株)
金額：5775万円(505万円の増額)
変更理由：スピーカー、エアコン、シャッター等の追加

工事契約



工事名：土地区画整理事業整備工事(花渚浜地区)
契約先：丸勘建設(株)
金額：1億6416万円
工期：平成29年3月31日

補正予算 マイクロバスをリース車に代替え

平成28年度一般会計補正予算（第3号）は、歳入歳出それぞれ9409万円を減額して、歳入歳出の総額を108億6343万円としました。補正の主なものは、職員人件費の整理や、東日本大震災被災者支援補助金減額、および小学校施設改修工事です。また、債務負担行為補正予算3件、地方債補正1件を審議し、原案のとおり可決しました。



代替えされるマイクロバス

質疑

マイクロバスのリース
(900万円)

問 マイクロバスリースの具体的な内容は、**答** 財政課長 現在のバスは購入から24年が経過し、走行距離も24万kmになるうとしている。今回のリースには、メンテナンス費も含む。

通学路交通安全プログラム
危険箇所設置用
のぼり旗購入
(11万円)

問 のぼり旗は風に弱く壊れやすいので、強いものに替える考えはないか。
答 総務課長 ナイロン製のものです。70本（14カ所）で56本、予備16本を購入し設置する。破損があればすぐに交換する。

亦楽小学校フェンス改修
工事
(350万円)

問 亦楽小学校のフェンス改修工事の内容は、**答** 教育総務課長 校庭南側のフェンスが夏の頃の台風で破損したので安全確保のために改修するもの。

宮城県ドクターヘリ
ランテーパーポイント
標識設置
(17万円)

問 ランテーパーポイント（場外離着陸場）と標識イメージは、**答** 総務課長 ランテーパーポイントは第1スポーツ広場を予定している。標識はアルミ製（縦60cm・横90cm・看板の高さ2m）で、注意喚起を告知するもの。

お も な 内 容

一般会計		補正額
歳入	普通交付税の追加	2億6130万円
	東日本大震災復興基金繰入金を減額	▲2億2075万円
	財政調整基金繰入金を減額	▲2億0万円
	東日本大震災復興交付金基金繰入金を減額	▲1億2220万円
歳出	小学校施設改修事業へ追加	1億7050万円
	臨時福祉給付金（経済対策分）へ追加	4950万円
	災害公営住宅維持管理基金積立へ追加	4805万円
	宅地、建物等嵩上げ工事補助金を減額	▲2億1783万円
	防災集団促進事業補助金を減額	▲1億4044万円

意見書3件を



国・県へ提出

請願

今定例会に4件の請願が提出され、審議結果は次のとおりとなりました。
○後期高齢者医療制度の保険料軽減特例措置の継続等を求める意見書の提出を求める請願

○東日本大震災被災者の医療費一部負担金免除及び介護保険利用者負担金の減免を被災市町村の負担によらず、平成29年度継続するための財政措置を求める意見書の提出を要請する請願

○子ども医療費助成への「ペナルティ」を廃止し、国の制度化を求める意見書の提出を求める請願

請願者
塩釜地域社会保障推進協議会
代表幹事 内藤 孝 他

提出先
内閣総理大臣
衆議院議長
参議院議長
各関係大臣
宮城県知事

以上3件は、本会議において採択され議員提出議案として審議しました。（5ページに掲載）

○中小企業・小規模企業振興条例の制定に関する請願

請願者
多賀城・七ヶ浜商工会
本件は、産業建設・厚生常任委員会へ付託しました。

おわびと訂正

議会だよりNo.129の記事の中で、5ページにある「各種会計決算額」に誤りがありましたのでおわびし、訂正いたします。

各種会計決算額

会計名	収入	支出	差引額	採決の結果
一般会計	187億9838万円 187億9837万円	157億9512万円	30億326万円 30億325万円	賛成11：反対2 (歌川・木村)
下水道事業	8億2566万円	8億179万円	2387万円	
国民健康保険	26億1085万円	24億7795万円	1億3290万円 1329万円	
介護保険	15億4092万円	14億4369万円	9723万円	
後期高齢者医療	1億6532万円	1億6314万円	218万円	
公園墓地事業	5518万円 5519万円	5450万円 5449万円	68万円	全員賛成

水道事業会計	収益的	6億5179万円	5億4590万円	1億589万円 1058万円	賛成11：反対2 (歌川・木村)
	資本的	181万円	2億1959万円	▲2億1778万円 2億1778万円	



ズバリ

町政を問う

一般質問一覧表

12月定例会の一般質問は、7日に行い、6人が活発な議論を展開しました。
内容は質問者の原稿を原文に近い形で10ページから15ページに掲載しています。
なお、タイトルは通告のとおりです。

熊谷 明美 …… 10ページ

- 町全体でグローバル人材育成を

佐藤 衛 …… 11ページ

- 産業活性化イベントによる観光振興について

木村 稔 …… 12ページ

- 阿川沼周囲の緑地公園化策について
(遊歩道周回コース等の整備)
- 義務教育における保護者負担の軽減を

歌川 渡 …… 13ページ

- 就学援助は制度の主旨に沿った運営に
- 仙台パワーステーション(栲炭火力発電所の稼働について

仁田 秀和 …… 14ページ

- 漁港内の防犯対策と資材置き場について
- 多聞山、毘沙門堂の遊歩道整備について

渡邊 淳 …… 15ページ

- 町民プールと老人福祉センターの早期安全性確保等について
- 観光資源としての貞山掘の活用について
- 森林整備計画について

※傍聴される方には、一般質問の要旨が記載されている資料を配布しています。

12月定例会 提出議案採決結果一覧 (12/7~12/8)



12月定例会では、条例制定および改正、平成28年度各種会計補正予算等の議案21件、閉会中の継続調査申出書(総務・教育常任委員会、産業建設・厚生常任委員会)の審議をしました。
賛否が分かれた案件を一覧表に、全会一致の案件は名称のみ掲載しました。
なお、議案名は略して記載しています。

●賛否が分かれた議案

議案名	掲載ページ	賛成	反対	議決結果	仁田 秀和	木村 稔	熊谷 明美	佐藤 壮一	安倍 敏彦	佐藤 衛	渡邊 淳	遠藤 久和	鈴木 初雄	我妻 周悦	佐藤 梶信	歌川 渡	岡崎 正憲	大町 睦夫
情報公開等条例制定(3件)	4	11	2	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—
汚染廃棄物の処分に関する議員提出議案	4	2	11	否決	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	—

○賛成 ●反対 議長(大町睦夫)は採決に加わらない。

●全会一致の議案等

条例制定・改正	掲載ページ
○職員、特別職、議員報酬などの条例の一部改正(3件)	4
○人事行政の運営等に関する条例の一部改正	4
○町税、国保税条例等の一部改正(2件)	4
○子ども医療費の助成に関する条例の一部改正	4
○職員の勤務時間、休暇などに関する条例の一部改正	4
○医療・介護及び夜勤交代制度改善を求める意見書	5
○東日本大震災被災者における一部医療費の継続支援の意見書	5
○子ども医療費への国庫負担額調整措置を廃止し、国の制度化を求める意見書	5
○後期高齢者医療制度の保険料軽減を継続的に求める意見書	5
○議員の厚生年金加入を求める意見書	5
○中小企業・小規模企業振興条例制定に関する請願	6
○和解及び損害賠償の額を定める議案	—

契約関係ほか	掲載ページ
○工事請負契約「土地区画整理事業公共施設整備事業(花洲浜地区)」	5
○工事請負変更契約「菖蒲田海水浴場パトロールセンター建築工事」	5

補正予算	掲載ページ
○平成28年度一般会計補正予算(第3号)	7
○平成28年度下水道事業特別会計補正予算(第2号)	—
○平成28年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	—
○平成28年度介護保険特別会計補正予算(第3号)	—
○平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	—
○平成28年度水道事業会計補正予算(第1号)	—





さとう まもる 佐藤 衛

ポッケと収穫祭は期待外れではないか

町長 次回は満足できるよう努力したい

問 先日開催されたポッケと収穫祭では、多くの来場者からポッケが少なく、鮮魚も少ないと期待外れの声が多かった原因は何か。

答 地域活性化のイベントは、観光事業だけでなく町の活性化やコミュニケーションづくりとして、また、明るく元気な町づくりとしても必要である。期待して参加される多くの来場者に十分満足できるように努力すべきである。

問 町長 海水温が下がらないため時期ははずれた。また、例年獲れる魚も獲れなかった。

答 今年は、3800人の来場者があったが、目的は生鮮魚介類が中心である。その中でも特にポッケを目的に来場している。



町のおいしいポッケ

問 来場者の感想はどうだったか。

答 翌日、産業課に「ポッケの量が少なすぎる」との苦情が10件ほど寄せられた。また、当日漁協に直接苦情があった。ポッケが食べられると期待して来られた方々には、非常に残念な気持ちであり、申し訳ないと思っている。

問 今回のイベントは成功したと思うか。

答 成功したとは思っていない。せっかく来場しても、目当てのものが買えなかったという思いは理解している。しかし、漁協でも品集めに苦労したとのことである。通常は、イベント前から水揚げした活魚を確保しているが、今回は低気圧

問 アンケートを取るのが、なぜ取らなかったのか。参加者の意見が反映されないのではないかと。

答 産業課長 ぜひ12月の実行委員会で提案したい。

問 町の人材・資源として、仲買人や塩釜仲卸市場で営業している町内の方々、また、チェーン店のスーパーなどの協力を考えていないか。

答 地産地消を基本としているので、現在の店舗参加者には同意していただけないと思う。

問 総合戦略計画では、平成31年には七の市の来客数を6000人と見込んでいる。しかし、ブランド化も進んでいないし漁獲量も減少してい

答 町長 期待して参加される多くの町内外の皆様、次回は満足できるように努力したい。もう一度実行委員会並びに漁協に申し入れたい。



くまがい あけみ 熊谷 明美

町全体でグローバル人材育成を

町長 町ぐるみ地域ぐるみで積極的に取り組んでいく

問 町長の政策の1つに国際化を踏まえた幅広い視野を持った子どもたちの育成とある。グローバル人材育成を考えたとき、教育現場だけではなく親や家族、地域住民の理解と協力が必要と考える。

答 町長 子どもたちをグローバルな人材に育てるには、より多くの町民の理解と協力があるべきと考える。今後、講演会や交流会を積極的に開催し、町ぐるみ、地域ぐるみで取り組んでいく。

問 姉妹都市プリマス青年訪問団だけでなく、外国人のホームステイなど、ホストファミリーを増やし、積極的に受け入れる考えはないか。

答 町長 プリマスの教育長から、平成29年は20人の青少年派遣の意向があった。人材育成を進めながら、身近に気軽に交流できる環境づくりをしていく。

問 町内在住の外国人との交流会やイベントを町全域に広げ積極的に推進する考えはないか。

答 町長 町内在住の外国人は17カ国56人である。交流を国際交流協会と協議しながら積極的に企画していく。

問 英語を学ぶ機会を増やしたい。

答 町長 「英語を学ぶ機会を増やしたい」という声は、今後子どもたちへのサポートをどう考えているのか。

答 町長 「英語を学ぶ機会を増やしたい」という声は、今後子どもたちの成長に合わせた内容を考え、明るく楽しくおもしろい授業をしていく。

問 生涯学習の講座に英語講座を設ける考えはないか。

答 生涯学習課長 20年位前に開いたが、定

問 受け入れるホストファミリーを、どのように募集しているのか。

答 国際村局長 今回プリマスに行った9家族は、今回のホストファミリー

問 教育現場ではA・L・T（外国語指導助手）をおき英語教育を考えているか。

答 国際村局長 キャンプや親子クッキングを考えている。まち全域の広報活動も考えていきたい。



グローバル人材育成は町ぐるみで



うたがわ わたる
歌川 渡

就学援助を制度の主旨に沿った運用に

町長 今後も現行の支給要綱で運用して行く

問 児童・生徒の保護者に対する就学援助制度の周知および申請の周知方法として、今後は全就学児童・生徒の保護者に毎年、文書配布をする考えはないか。

答 教育長 新入学児童の保護者には文書で行うと同時に、町広報や各学校の「学校だより」で周知している。

問 民生委員による「認定家庭調査」の承認は、個人のプライバシー保護の立場から廃止する考えはないか。

答 地区民生委員を知ってもらい、生活相談や情報提供等で手助けしてもらうことが理由で、必要と考えている。



きむら みのり
木村 稔

義務教育の保護者負担の軽減を

町長 県の制度に沿って助成する

問 9月の県議会で宮城県知事は「教育費の負担を求める声は大きい。少子化対策は宮城県の将来にとって喫緊の課題だ」と位置づける見解を示し、「教材購入費を助成する制度の創設を前向きに検討したい」との新聞報道があった。報道の中で「県は各市町村教育委員会の意見を聞き、所得制限や助成額を決めた上で来年度当初予算に盛り込む予定」とある。県との話し合いはどこまで進んでいるのか。

答 町長 県は10月28日に市町村児童福祉担当者会議を開き、小学校入学用品等助成制度の創設の説明会を開催した。説明内容は、少子化対策の一環として、教育費にかかる保護者の経済的負担の軽減を図るため、

市町村が行う入学用品等助成事業に要する経費の補助金を交付するという内容であった。

問 県で一部助成されるのであれば、町独自で上乗せ助成をする考えはないか。

答 本町として検討した結果、平成29年度から第三子以降の児童に小学校入学時における入学用品等の助成事業を実施する予定である。対象世帯に対し、入学用品等助成として3万円を支給し、少子化対策と子育て支援を図るものである。



問 新聞報道では小学生が対象とされているが、中学生まで義務教育であることから、県に対して中学生まで拡大することを求めることも、町独自で助成をする考えはないか。

答 県の助成制度に沿った内容で助成する。

問 阿川沼は県が年度内に浄化装置の復旧を行うとのことであるが、町は県にどのような対応を求めているのか。

答 町長 県の水質浄化施設の復旧事業は来年3月には完成の見込みであり、これで全ての復旧事業が終了する。

問 阿川沼を活用し公園と遊歩道を作る考えはないか。

答 阿川沼の周囲を整備するのは難しい。現段階では新たに設置する考えはない。



遊歩道がほしい阿川沼



2016.12.20 新聞記事から

問 町独自に世帯収入基準に上乗せを行う考えはないか。

答 現在の要件で満たしており、基準の上乗せの考えはない。

問 新入学児童・生徒学用品費等の入学前の支給は制度自体の危うさ

と手続きも複雑と言ったが具体的な説明を。

答 入学前と入学後の支給では所得基準年が異なり、課税世帯が非課税に、その逆も考えられる。支給後に他市町村に転居した場合などの課題もある。手続きも再度の手続きになる。

仙台港付近にできる石炭火力発電所の 大気排出物は安全か

町長 仙塩地域公害防止協定の基準等で運営して行く

問 町と公害防止に関する協定を結んだ理由は何か。

答 町長 宮城県公害防止条例に基づき、7自治体（県、仙台市、塩釜市、名取市、多賀城市、七ヶ浜町、利府町）で「仙塩地域7自治体公害防止協議会」を組織し、事業者と協定を結んだ。

問 町および事業者による「住民説明会」を開催する考えはないか。

答 町に開催の義務はない。環境影響評価法（環境アセスメント）の対象外のため、事業者の説明義務もない。

問 今後、環境汚染による住民の健康被害が懸念される。稼働前と稼働後の定期的な健康調査をする考えはないか。

答 環境基準内であり、実施の考えはない。

問 町と公害防止に関する協定を結んだ理由は何か。

答 町長 宮城県公害防止条例に基づき、7自治体（県、仙台市、塩釜市、名取市、多賀城市、七ヶ浜町、利府町）で「仙塩地域7自治体公害防止協議会」を組織し、事業者と協定を結んだ。

問 町および事業者による「住民説明会」を開催する考えはないか。

答 町に開催の義務はない。環境影響評価法（環境アセスメント）の対象外のため、事業者の説明義務もない。

問 今後、環境汚染による住民の健康被害が懸念される。稼働前と稼働後の定期的な健康調査をする考えはないか。

答 環境基準内であり、実施の考えはない。



わたなべ あつし
渡 邊

町民フール・老人福祉センターの 安全確保は

町長 早期に耐震診断を対処する

問 総務・教育常任委員会の調査では、町民フールと老人福祉センターの安全性確保が最優先と考へた。耐震構造計算や点検診断といった対策をどのように考へるのか。

答 町長 本施設は老朽化が進んでいると認識している。平成25年11月に制定された建築物の耐震改修促進に関する法律改正では、耐震診断を計画的かつ重点的な耐震化の促進に取り組む事となっている。

フールは昭和56年12月に建築されたもので昭和56年6月1日以前に建築された建築物には該当せず、調査は行っていなかった。しかし耐震診断の必要性は認識しているので、



老朽化が進む老人福祉センター

できるだけ早い時期に調査し対応を考へたい。老人福祉センターは昭和53年に建築したものが耐震診断は実施していなかった。

耐震調査が体力度調査なのかを検討し、その結果で対処しなければならぬと考へている。

問 公共施設等総合管理計画策定の際には有識者や専門業者（建築士の構造系）の意見を参考に考へるのか。

答 本計画には個別建築物の改修計画は盛り込まれないため有識者や専門業者の意見は反映されない。

問 本計画策定段階でも議会や利用者（利用団体）への情報提供は必要と思うが町の考へは、議会には説明する機会を設けたいと考へている。町民の意見収集はパブリックコメント等で検討し広く意見をいただきたいと考へている。

答 本計画には個別建築物の改修計画は盛り込まれないため有識者や専門業者の意見は反映されない。

町内の森林整備促進策は 町長 情報を収集中である

問 昨年の3月議会で、植林を進めるには所有者の考へもあるのでは相談を受けると回答された。森林所有者との相談や植樹の促進策はどのように考へたのか。

答 町長 町の広報2月号に山林の松くい虫被害状況や地域における森林資源の重要性、立木伐採等の開発手続きに関する情報を整理し、掲載する準備をしている。



ひでかず
秀和
仁田

漁港内の防犯対策を図れ

町長 防犯灯を復旧していききたい

問 県事業で防潮堤工事が進められている。住民の安心安全、さらには津波等の防災対策のためには必要であるが、完成により漁港内が見えづらくなる等で盗難被害が相次いでいると聞いた。町は被害状況を把握しているのか。

答 町長 七ヶ浜交番に確認したところ、燃料タンクが持ち去られる被害が2件発生しているとのことであった。

問 その他にもイカリや鉛、網等が盗難被害にあっていると聞いたが、防犯対策は町としてどう考へるのか。

答 警察に、夜間パトロールの際には岸壁まで入っての強化をしてもらうように申し入れた。



夜間の見通しが悪い漁港

問 防犯灯を設置する考へはないか。

答 震災前からあった防犯灯を復旧していききたい。現在防犯灯がないのは管理者の宮城県が調査しているの待つてほしいとのことである。

問 設置後の電気料金はどこが負担するものなのか。

答 震災前は町と漁協が負担していたが、今は改めて県と協議して決めていく。

問 現在海苔の養殖業者や刺し網業者の資材置き場がなく大変困っている状態だが、町として新たに確保する考へはないか。

答 以前に個人から買い取り用地を貸しても

られないかと相談があり、個人ではなく漁協にとりまとめて要望して頂くようにと回答したが、その後は協議もなまま現在に至っている。漁協ととりまとめて要望してもらいたい。

多聞山の遊歩道（階段）を 整備せよ

町長 早急に対処したい

問 多門山展望広場から毘沙門堂への遊歩道ならびに階段は、町民や観光客等が多く利用するところであるが、階段が震災によるダメージ等で破損している箇所がある。

事故が起きる前に、安心して利用できるよう早急に整備すべきと思うが。

答 町長 担当課が確認したところ、2カ所で石のズレが見られたので、早急に対処したい。

貞山堀の活用は

町長 景観形成を 推進したい

問 民間では貞山堀を観光資源として活用する活動が活発になっている。地方創生や地域連携をはかるテーマとしての題材だと思いが、本町は貞山堀をどのように考へているのか。

答 町長 貞山運河を復興のシンボルとする宮城県の考へもあり、その計画を策定する場合は本町も参加したい。町内に入る玄関口のため貞山運河を景観ゾーンとし水辺の景観形成を推進していきたい。七ヶ浜町側は民有地もあり整備が進まないのが現状である。

町へ

●地区によって世帯数が違うが、世帯数が多い地区の避難所は十分なのか。行政区割りの基準は、大変難しい課題である。地区毎の人口に対して避難所が十分収容できるかなど検討の余地があると思うが。

●笹山地区内で交通事故が発生している。一時停止の標識を新たに設置してほしい。

こうして欲しい
意見・要望

「ぐるりんこ」では

問 現行運行ルートでは、東北本線の塩釜駅には行かない。鹿島台等通学者や通勤者が多く利用しているのに1日に2往復でもしてもらえれば助かる。

答 問題があるのであれば、町に調査を申し入れたい。

問 スピードを出しているのをよく見かける。大変危険である。

答 運転マナー等担当課に申し入れる。

ここはどうなの
質疑・応答

交通安全プログラムでは

問 町から各地区の危険箇所の回答があったが、具体的な対策が講じられていない。

答 今回の補正予算にて、危険箇所14カ所に計56本の「のぼり旗」を設置する。(7ページに掲載)

また、今年度中に汐見台南から松ヶ浜小学校へ行く県道の横断歩道に信号機が設置される予定となった。



意見が飛び交う(要害・御林地区)

環境美化では

問 多目的広場が完成したが、草がかなり伸びている。地区への引き渡しは、除草されてからのなのか。

答 公共施設の除草は全地区から苦情がある。議員各々本会議で質疑しているが、回答は予算がないとのこと。被災した土地を買収して都市公園を造ったが、除草管理ができていない状況である。

問 公園に駐車場もあるが常にゲートは閉まっている。雑草は伸びて、自転車は放置しているし一体どういった管理をしているのか。

答 雑草処理は今後も課題として要望していく。ゲートの開放は、地区への引き渡しがまだなされていないからではないか。

その他の質疑では

問 町のマイクローバスは老朽化がひどいので、更新してほしい。

答 今回の補正で新たに900万円(リース)の予算をつけている。(7ページに掲載)

問 公営住宅空き室の一般貸し出しはいつ頃になるのか。

答 今月から一部募集予定である。

公園墓地では

問 支出(5449万円)の内容は。

答 主なものは、管理費(除草、電気水道料など)とE地区墓地建設費と利子である。



地域の未来を考えて(菖蒲田浜地区)

●樹木が電線より上に伸びているので、電線の下まで剪定してほしい。予算がないのであれば何年か毎に行うようなルール(年次計画)を作ってもらいたい。

●結婚をしない男女が多くなっている。数年前に婚活イベントや青少年ホーム等があったがやめてしまった。真剣にもう少し考えてほしい。

●免許返納のためにはきめ細やかな対応が必要だ。高齢者の交通事故が多発しているが、免許返納促進のためにも、生活に不便が生じないよう「ぐるりんこ」の運行を考えてほしい。

●国際村でのイベント開催時は出入り口が渋滞するので、もう一本出入り口の道路がほしい。

●他県などで太陽光発電を設置する際に意見や苦情があると思う。完成してから苦情が出るようでは遅いので設置する前に考えてほしい。

●多聞山のトイレ脇の柵が腐っている。危険なので撤去してほしい。

議会へ

●「議会たより」の工事請負費などは、地区ごとの金額を掲載してほしい。



「愛読ありがとうございます。各項目のページ記載量が限られています。特集として今後検討したいと思います。」

●トライアスロンの実施エリアを、町内の人たちに理解を得て、当初のコース(町全域)でやった方がいいと思う。町民ボランティア等参加型にしてコミュニティ作りを促進することで町の活性につながると思う。



円卓を囲んで(松ヶ浜地区)

これも議会の仕事です

産業建設・厚生常任委員会

「介護保険事業について」

グループホームの運営

高齢化社会を迎えている状況の中、認知症高齢化対策は避けて通ることのできない重要な課題です。本町では、来年度グループホームが開所となります。本委員会では、施設運営や利用者とのかわりを中心に既存の施設を視察しました。調査結果に当たり報告します。

結論として、急増する

認知症患者とその家族をどう支えていくかが地域の必須課題です。グループホームは、比較的元気な認知症の方が少人数で共同生活を営む施設ですが、経年による入居者の重度化が問題となります。時間の経過とともに医療的ケアや介護が必要な利用者が多くなることから、将来は重度化した場合に

視察したグループホーム3カ所の特徴です。

○グループホーム

市川桜の家
(多賀城市内)

本町で開所するグループホームの運営母体です。利用者の意思を尊重し、出も本人の自由を妨げない無施設とし、見守りを重視しています。

○グループホームのんぎ

(山形県三川町)

実際の生活に必要な間取りや設備を確保するために、補助金なしで建設しています。畑や田を耕し、山菜採りなどの自給自足をめざし、さらに徘徊防止のため自分が必要とされるお手伝いや趣味を把握し和やかな生活に役立てています。

○ライフケア黒森
(山形県酒田市)

特別養護老人ホーム等の大型施設と同一敷地内にグループホームが併設され、給食センターから配食される施設です。調理等にかかる時間を学習療法に回すことができ、利用者同士が助け合うなどの効果が表れている複合施設として運営されています。



ライフケア黒森にて

議会広報編集特別委員会

議会広報編集方法を勉強しました

勉強しました

昨年11月7日県町村議会議長会主催の議会広報研修会が仙台市内で開かれ、広報委員全員が受講しました。



編集の様子

グラフィックデザイナーである長岡光弘氏の「議会だよりの編集と表現」と題した講演で

○住民目線での編集と住民の誌面参加
○紙面レイアウトの手法等の基本を学びましたので、委員のレポートから感想を掲載しました。

A委員 時代時代に合った議会だよりのリニューアルが必要である。

B委員 住民のニーズに答えることが必要であり、重要なことであると強く感じた。

C委員 文章は60文字以内でまとめることが読み

やすくなるコツであることを学んだ。

D委員 表現のポイントとして書体の使い方が重要であることを認識した。書体で目立たせようとするが、視力の弱い人を見ると文字の大きさ等の強弱で訴えることも必要であることを学んだ。

今後勉強した内容を、編集に活かして、「より読みやすい議会だより」にしたいとの決意を新たにしました。

期待

●汐見小の「はまぎく児童館」が新しくなるのですね。娘も小1から小3までお世話になりました。懐かしいですね。早いもので娘は今年20歳になります。開館したら、ぜひ見学に行きたいと思っています。(45歳女性、28年7月)

不安

●マイナンバー制度は個人情報なので管理にとても不安です。(65歳男性、27年12月)
●議会から 保護条例等が制定されましたが、今後の重要な課題です。

要望

●私たちのお茶会でも時々話題になっている郵便ポストの設置を、花洲浜地区にもよろしくお願ひします。(75歳女性、28年7月)
●七ヶ浜町に住んで約3年。子育て世代なので子どものこと。

叱咤・激励

①子育て支援センターを利用してありますが、自動販売機かウォーターサーバーを置いていただきたいです。飲み物を忘れた時など水分補給に困りました。
②任意分の予防接種補助金があると、もっと積極的にに行けるようになると思います。(33歳女性、28年7月)

●議会のホールレンソ、大事だと思えます。(62歳男性、27年7月)
●議員さんに一言 私は、あと2年もすれば還暦ですが、ここまで必死に働いて真面目に年金や税金を納めてきました。どうか税金の無駄遣いだけは、してほしくありません。(58歳女性、27年12月)

●決算報告や討論など詳しく載っており、とても勉強になります。一人の町民として、議会だよりを隔々まで読むことは大切なことだと思いました。(49歳女性、28年11月)
●ぐるりんこの見直しをしていただきありがとうございます。(72歳女性、28年11月)

クイズに寄せられた皆さんからのコメント

平成27年7月から平成28年11月まで寄せられたコメントを掲載しました。これからも御指摘をお願いします。

環境

●外に出る機会があっても遊べる所が少なく、公園などを遊べる環境としてもらえると嬉しいですが、変わり果てた浜に美しい花が咲くのが待ち遠しいです。(70歳女性、27年7月)

●もっと広くて遊具の多い公園を作ってほしい。校庭は野球などの練習があると使えません。もっと子どもがのびのびと遊べる場所が必要だと思います。(10歳女性、28年7月)

●来年3月の認知症グループホーム開設は、高齢の母親を持つ私や介護士の嫁さんにとって期待は絶大なものです。(59歳女性、28年11月)
●議会から 場所は要害地区で現在工事中です。詳細は議会だよりNo.129追跡記事をご覧ください。

●アクアリーナでバウンディングをやりたいと思うのですが、使用可能でしょうか。(女性、28年11月)
●20数年前に教室も開いていました。震災後の町民体育館解体時にマット等の道具類も処分したようです。現在では設備上無理のようです。

●小中学校先生へのパソコン貸与はチャレンジとして、今後に繋がる投資だと思います。投資したら終わりではなく、その結果を見て次に活かしてもらいたいと思います。(29歳男性、28年7月)

●議会への意見 大変わかりやすく、ためになる議会だよりですね！変わりゆく七ヶ浜町、明るい町づくりに向けよろしく願ひします。(57歳女性、28年11月)

●ありがとうございます。ご意見を真摯に受け止め、研鑽いたします。 議会から

●ありがとうございます。ご意見を真摯に受け止め、研鑽いたします。 議会から

クイズ？

<3択から選んでね>

問1 一般会計補正予算（第3号）の歳入歳出それぞれの総額はいくらになりましたか。

- ①9409万円
- ②108億6343万円
- ③208億6343万円

問2 町の基幹産業と特産で海の恵みに感謝したい品物はなんでしょうか。

- ①ホッケ ②海苔 ③柿

問3 松ヶ浜、亦楽、汐見小学校のトイレ改修工事の予算額はいくらになりましたか。

- ①1億1千万円
- ②1億6千万円
- ③2億6千万円

応募方法： はがきにクイズの答え、氏名、住所、年齢、**議会へのご意見**を書いてお送りください。

(メール可)

正解者の中から抽選で3人の方に図書券を
進呈します。

あて先：〒985-8577 七ヶ浜町東宮浜字丑谷辺5-1

七ヶ浜町議会事務局 議会だより係

Eメール gikai@shichigahama.com

締切り：平成29年2月15日 (当日消印有効)

前号の答え：問1 ③ 問2 ① 問3 ②

当選者：桃田泉さん、小玉リウ子さん
末永はつさん

議会を監視するのはみなさんです。

一次の定例会は3月開会予定ですー

詳しくは議会事務局まで TEL357-7435
または、町ホームページ「町民便利帳」を
ご覧ください。

<http://www.shichigahama.com>

発行責任者	議長	大町 睦夫
副委員長	委員	安倍 敏彦 佐藤 壮一 熊谷 明美 木村 稔 仁田 秀和 佐藤 正憲 岡崎 正憲
議会広報編集特別委員会	委員	安倍 敏彦

◆広報委員を担当して、1年が経ちましたが、なかなか思い通りに編集する事が出来ず、いまだに不慣れではありますが、これからも読みやすく、分かりやすい議会だよりの編集に努めて参ります。

表紙に寄せて

今回の表紙は、海苔の養殖を取り上げました。海苔作りは、9月頃から海苔網への種付けが始まり、育った海苔は11月から翌年3月まで収穫されます。



さとう ひろし
佐藤 弘さん
(吉田浜)



Q 海苔作りを始めたきっかけを教えてください。

A 20歳の時、両親から引き継ぎました。

Q 1日の作業時間はどれくらいですか。

A 収穫の作業は、夜明けから15時頃までですが、最盛期(1月から3月)には、乾燥などで夜中の2時頃までかかります。

Q 寒さ対策はどんなことをしていますか。

A 特にしていません。仕事をしていれば温まります。

Q 海苔作りで難しいところは、どんなところですか。

A 生きているものなので、収穫まで気が抜けないところです。

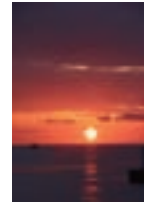
Q 震災(3.11)での被害と、その後の収穫量はどうですか。

A 全て流され、船や漁具等を揃えるのに大変でした。収穫量は良くなってきましたが、昨年11月22日の津波で被害があり3割減となりそうです。

Q 震災後いまだに困っていることは何ですか。

A 漁場にがれきが残っており、アンカーのロープが切れてしまうことです。

編集後記



◆新しい年を迎えました。大震災から6年が経過しようとしており昨年まで応急仮設住宅や集会所が設置されていた七中グラウンドや第一スポーツ広場は、スポーツができる環境に整備されました。震災前の姿に戻ったグラウンドを眺めると復旧復興が進んでいる事を実感します。